

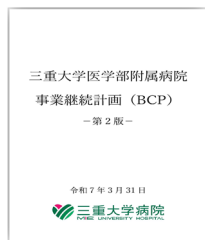
災害対策推進・教育センター かわら版



VOL.37 2025年10月号

Topics BCP増床体制について

災害時、当院は災害拠点病院として24時間緊急対応し、傷病者等の受け入れを行う役割があるため、空床を確保する必要があります。そのため、1月～3月にかけて院内防災会議・WG合同会議において、増床計画についての机上演習を行いました。病院事業継続計画（BCP）第2版に机上演習を基に作成した増床体制について掲載されていますので紹介します。



検討内容を3つに分けて実施

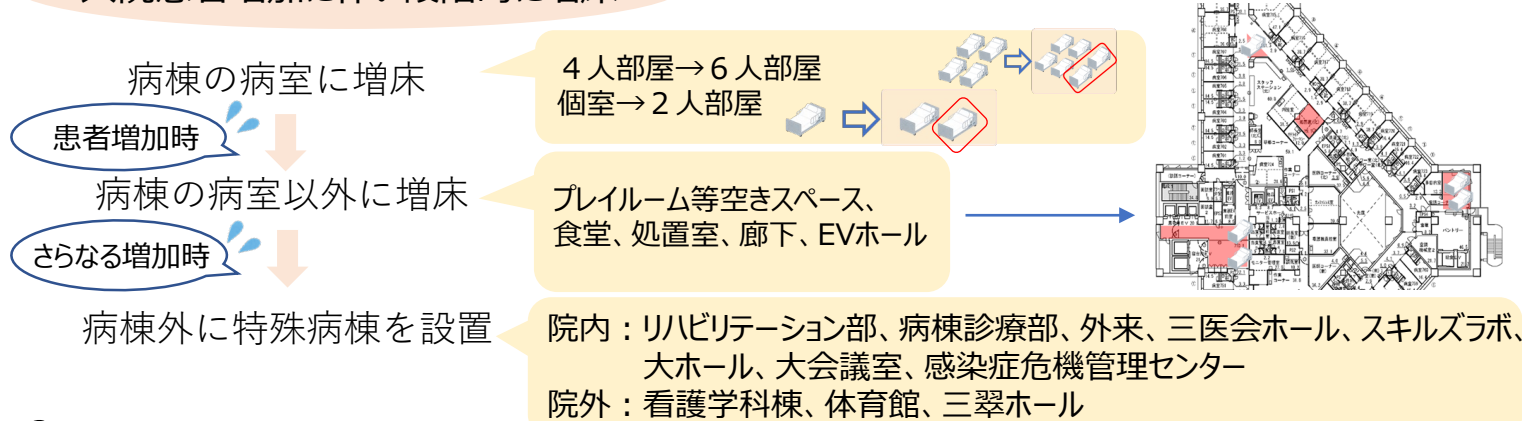
- 検討1（1月実施）：増床について
- 検討2（2月実施）：増床に伴う人員配置について
- 検討3（3月実施）：増床に伴う病院全体の人員配置について



合同会議の様子（1月）

空床確保のために 高度救急救命センター比較的的病状が安定した患者→病棟へ
病棟入院患者→状態に応じて転院・退院調整

入院患者増加に伴い段階的に増床



？増床するとスタッフが足りないのでは！？

①増床病棟に必要な人員



看護師

必要最低限の看護業務で対応する場合→ 増減なし

看護の質を保つため、新たな業務（雑務含む）を追加し対応する場合→ **2～5名増員**



医師

**2名
増員**



薬剤師

**1名
増員**



看護助手

**3～4名
増員**



クレーク

**0～1名
増員**

看護助手の不足 患者搬送など

- ・メディカルスタッフ（リハビリスタッフ、検査技師、放射線技師、臨床工学技士、管理栄養士）を優先的に配置
- ・不足する場合→事務職員を適時配置（メディカルスタッフとともに対応）

②外来の在院者への対応のための人員

最低限の継続医療のため医師・看護師・薬剤師を数名ずつ
患者誘導に事務職員を**50名程度**
要支援者のため専門職（視能訓練士、通訳士等）を数名



視能訓練士



通訳士



事務職員

③医療材料の搬送やベッド設置のための人員

事務職員・外部委託業者



1台につき4人
程度で搬送



Face 😊

看護部執行部 です

後列 左：高口副看護部長
中：河俣副看護部長
右：水谷副看護部長
前列 左：小瀬古副看護部長
右：福永看護部長

看護部では、これまでに発生したいくつかの災害で、多くの看護師を派遣してきました。そのため、看護師を支援に出すということについては、かなり慣れてきました。しかし、いざ自分たちが支援される側になる、あるいは、災害拠点病院として多くの傷病者を受け入れることになった場合を想定した準備は不十分です。そのため、今年度から、まずは師長さん達と一緒に被災・受援を想定した訓練を始めたいと思っています。災害への備えは、できるだけ「想定外から想定内」にしておくことだと思います。訓練を繰り返して、「**想定内**」の状況を目指します。

知っていましたか？ 職員の自主登院基準について



自主登院基準は？

津市内で震度**5強以上**の地震が発生した場合、安全を確認・確保して登院しましょう。

震度**5弱以下**の地震でも、緊急招集が行われた場合には、登院しましょう。

緊急招集：各部門で応援体制が必要となった場合、部門責任者の判断により招集を行うもの

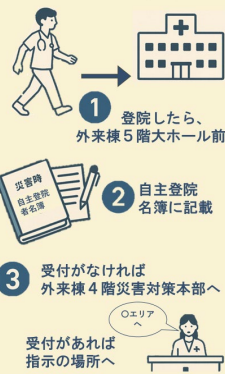


幼い子供がいるのですが...

家族および近隣住民に傷病者・要保護者・要介護者がいて、登院が困難と判断した場合には、その対応を優先してください。登院可能な状況となったら速やかに登院してください。



発災時の 自主登院者の行動



自主登院職員受付について

災害レベル3：自動設置
(通常診療中止・多数傷病者受け入れ体制)

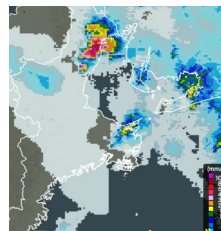
災害レベル2：災害対策本部の判断による
(診療制限)

自主登院職員受付が
設置されると全館放送
にてお知らせします。

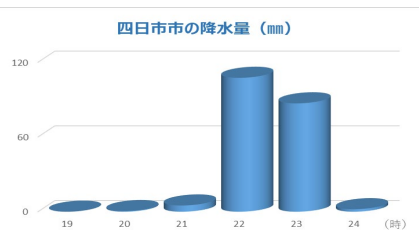


News 大雨により四日市駅周辺が冠水しました

9月12日22時頃四日市市で記録的短時間大雨情報が発令され、同市では観測史上最大となる1時間に123.5mmの降水量が観測されました。これにより四日市駅周辺が冠水し、3300棟の住宅が浸水したり、274台の車が水没するなどの被害を受けました。



9月12日22時アメダス



令和7年線状降水帯発生状況

線状降水帯 発生日	地方予報区
6月9日	九州南部・奄美地方
8月7日	北陸地方
8月8日	九州南部・奄美地方
8月9～11日	九州北部地方
8月29日	東北地方
9月4日	九州南部・奄美地方
9月5日	関東甲信地方
9月10日	九州北部地方

また、上空の風の影響で発達した積乱雲が線状に並ぶ「線状降水帯」の発生も大雨をもたらす要因となります。

気象庁では、線状降水帯による大雨の可能性が高いと予想された場合、半日程度前から線状降水帯発生の呼びかけを行っていますので、防災気象情報に留意しましょう。

BCP第2版には、風水害発生時をゼロアワーとし、気象・防災情報の発表から優先すべき業務の**タイムライン**が掲載されています。今回はその中から、中央部門・各部署・事務における**タイムライン**をご紹介します。

	中央部門等	各部署	事務
早期注意情報 警報級の可能性 警報級大雨の可能性 (中～高) レベル1	情報共有	情報共有	情報共有 情報収集班の仮設置
大雨/洪水/氾濫注意報 レベル2	浸水等危険箇所の確認・対応準備	浸水等危険箇所の確認・対応準備 不足品の緊急対応	浸水等危険箇所の確認・対応準備 浸水防止資器材の準備 備蓄・燃料の確認
高齢者等避難情報 大雨/洪水/氾濫警報 レベル3	外来患者の帰宅に関する情報提供 外来振替日程の調整 職員の出退時の安全確認	職員の出退時の安全確認	浸水防止処置の準備 ライフライン途絶に際し、代替設備等の点検 災害対策本部の設置 災害対策本部の準備と開催 職員の出退時の安全確認
避難指示 避難危険情報 大雨/洪水/氾濫警報 レベル4	浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 資器材、医療品等の浸水防止確認・浸水防止措置の実施 多数傷病者対応または水害傷病者の対応	浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 資器材、医療品等の浸水防止確認・浸水防止措置の実施 人員調整	浸水防止処置の実施 ライフライン途絶に際し、代替設備等の点検、作動 災害対策本部運営 人員調整
緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報 レベル5	浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 資器材、医療品等の浸水防止確認・浸水防止措置の実施 水害対応と傷病者対応の並行実施への体制確保	浸水等危険箇所の確認 浸水防止処置の実施 資器材、医療品等の浸水防止確認・浸水防止措置の実施 水害対応と傷病者対応の並行実施への体制確保	浸水防止処置の実施 ライフライン途絶に際し、代替設備等の点検、作動 災害対策本部運営 人員調整



10月4日(土) 院内総合防災訓練 (多数傷病者受け入れ訓練)を実施します

- ◆日時：2025年10月4日(土) 13:30～17:00(予定)
- ◆内容：多数傷病者受け入れ訓練
(災害対策本部設立訓練、エリア診療活動訓練、学生訓練)
- ◆服装：日常勤務している服装(白衣等)、不織布マスク着用

Center Message

災害が起きたときは、まず自分の身の安全を守りましょう。自宅や周りの状況を確認し、家族の安否や生活のめどをつけてから行動することが大切です。自主登院する際は、職場に連絡し、徒歩や自転車など安全な手段を選びましょう。また、自主登院時に必要となる持ち物や、家族と連絡する方法については、ふだんから考えて準備しておくことが安心につながります。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。日頃から情報を集め、起こりうる状況を想定して備えることで、大切なものを守り、被害を少なくすることができます。(センター臨床工学技士 あ)



災害拠点病院として地域で一番の災害対策を目指して

